

**企業IR & 個人投資家
応援イベント
2025年3月15日**

西華産業株式会社
(東証プライム市場 証券コード8061)

- 1. 西華産業について**
- 2. 事業紹介**
- 3. 2024年度の業績予想と中期経営計画・長期経営ビジョン**
- 4. 価値創造プロセス**
- 5. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応と対話状況**

— 参考資料 —

1. 会社概要



証券コード	8061
業態	商社
本社所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル3F
設立	1947年(昭和22年)10月1日
代表取締役	櫻井 昭彦
資本金	67億28百万円 (連結純資産449.2億円 ※24年12月末現在)
従業員数	連結：1,062名 単体：353名
主な事業内容	発電設備、環境装置、産業機械、電子機器の販売および輸出入、アフターサービス
西華産業 各拠点	国内：本社、大阪支社、福岡支店、広島支店ほか =全29拠点 海外：ソウル支店ほか =全3拠点
グループ会社	国内：12社 海外：17社 =全29社
事業拠点	国内拠点：112拠点 海外拠点：25拠点 =全137拠点

1. 沿革

- 1947.10** ● 財閥解体により、旧三菱商事 門司支店メンバーが門司市（現・北九州市門司区）に資本金195千円にて当社設立
- 1961.10** ● 株式を東京証券取引所第一部に上場（資本金 6 億円）
- 1974.01** ● ドイツ（デュッセルドルフ）に現地法人 Seika Sangyo GmbHを設立
- 1980.12** ● 資本金を30億円に増資
- 1983.11** ● ドイツ（デュッセルドルフ）に現地法人 Tsurumi (Europe) GmbHを設立
- 1984.05** ● 資本金を43億円に増資
- 1994.04** ● 米国（ロサンゼルス）に現地法人 SEIKA MACHINERY, INC. を設立
- 2004.01** ● 中国（上海）に現地法人 西擘貿易（上海）有限公司を設立
- 2005.04** ● 日本ダイヤバルブ株式会社を子会社化
- 2012.12** ● タイ（バンコク）に現地法人 Seika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.を設立
- 2018.12** ● ベトナム（ホーチミン）に現地法人 SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITEDを設立
- 2020.10** ● セイカダイヤエンジン株式会社を設立
- 2022.04** ● 東京証券取引所プライム市場へ移行
- 2023.11** ● 台湾（台北）に現地法人台湾西華産業股份有限公司を設立

1. 企業理念

社是

社業の発展を通じ社会に貢献する
これをわが社の信条とする

長期経営ビジョン **VIORB 2030**

「地球環境と調和したサステナブルなエネルギー創出・
産業活動を支援する」というパーパス（存在意義）を
実践し、豊かな社会の実現に貢献します

1. 連結の範囲

SSC

西華産業株式会社グループ

SEIKA CORPORATION

親会社
連結子会社（国内/海外）

持分法適用関連会社



エネルギー事業

SSC 西華産業株式会社

Fenwal 日本フェンオール株式会社

TVE
Challenge for the NEXT

MKE
名南共同エネルギー



産業機械事業

SSC 西華産業株式会社

Seika Sangyo GmbH	SEIKA MACHINERY, INC.
SSC 西擘貿易(上海)有限公司	SSC 台湾西華産業股份有限公司
SSC SEIKA SANGYO (VIETNAM)	SSC Seika Sangyo(Thailand)



プロダクト事業

SSC 西華産業株式会社

Tsurumi (Europe) GmbH

NDV SDE

日本ダイヤバルブ セイカダイヤエンジン 敷島機器

Seika Digital Image 田中造船

西華デジタルイメージ SHIPYARD TANAKA since 1861

粉粒体の立体搬送専門メーカー
エステック株式会社

Ten Feet Wright
テンフィートライト

2. 事業紹介

火力・原子力・再エネ等
エネルギー発電関連設備 等



エネルギー
事業



産業機械
事業



プロダクト
事業



要素機械、自動化装置、半導体、
特殊計測等関連製品 等

機能性素材・食品飲料等生産設備、
プラント機器 等

エネルギー事業

火力・原子力・水力・バイオマスなど、国内発電所向け関連設備販売
各発電所・プラントの定期点検やアフターメンテナンス



連結従業員数 152名

業績

	FY23	FY24 3Q
取扱高	1,445.8億円	1,706.0億円
売上高	297.0億円	257.0億円
セグメント利益	19.8億円	22.2億円



化学プラント

戦略

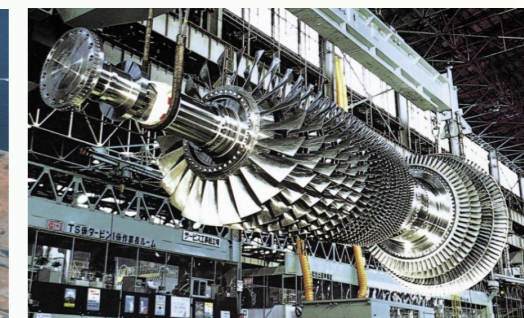
- 新規商権獲得による収益の底上げ
- 脱炭素の流れに沿う商材の展開

トピックス

- 三菱重工の火力・原子力事業の一次代理店業務開始
- TVE(株)の持分法化
- 日本フェンオール(株)の持分法化



発電所



発電設備

産業機械事業

化学、繊維、食品・飲料、プラントなど
一般産業向け各種製造設備等 販売



連結従業員数 163名

業績

	FY23	FY24 3Q
取扱高	313.1億円	197.9億円
売上高	276.0億円	179.7億円
セグメント利益	1.5億円	▲3.5億円

戦略

- 省エネ・省人化など戦略に基づく確実な取り組み
- 収益構造変革の足掛かり

トピックス

- タイにおける自動化設備導入営業の強化
- 日系企業のベトナム進出ニーズにワンストップソリューションを提供



フィルム関連設備



工場内自動立体倉庫

プロダクト事業

船用エンジン、各種バルブ、プラント設備点検、計測機器、水中ポンプ等
独自の強みを持った特徴ある製品



連結従業員数 571名

業績

	FY23	FY24 3Q
取扱高	294.8億円	240.5億円
売上高	294.7億円	240.5億円
セグメント利益	33.7億円	24.1億円

戦略

- ニッチトップ商材の開拓
- サプライチェーンの強化

トピックス

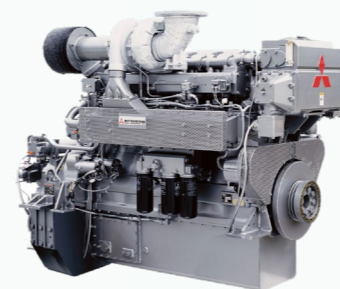
- テラドローンの株式取得
- EV船試作とテスト運航
- アンモニア水素ガス分析装置のリリース
- 田中造船の株式取得



日本ダイヤバルブ
ダイヤフラム弁



Tsurumi (Europe) GmbHグループ
水中ポンプ



セイカダイヤエンジン、
敷島機器
船用エンジン



西華産業
ドローン点検サービス

2. 環境関連ビジネス

持続的な水産事業の実現に向けた取り組み

船用エンジン事業を展開するセイカダイヤエンジン株式会社は、2024年8月、マルハニチログループの掲げる気候変動問題への対応の一環である「養殖場におけるCO2排出量削減」に向け連携することで一致し、自社で開発した電気推進船（EV船）を同グループのマルハニチロAQUA社へ貸与し、実証運転を開始いたしました。



ドローンを使用したスマート保安

- インフラ業界では、DXによって老朽化や人手不足などの構造的な課題の解決を図っております
- 当社もTerra Drone社とのドローン点検サービスに関する国内総代理店契約を締結し、プラントや製造設備のスマート保安の実現、事業の進化と企業価値の向上を図ってまいります



西華産業グループ会社セイカダイヤエンジンによる (株)エイトノットとの資本業務提携契約締結

小型船舶のAI自律航法によるDXの推進

- 小型業務艇（漁船、商工船、旅客船等）を中心としたお客様が直面する安全性に関する課題の解決
- 今後更なる深刻化が予想される船員不足や漁業後継者不足の解消を支援

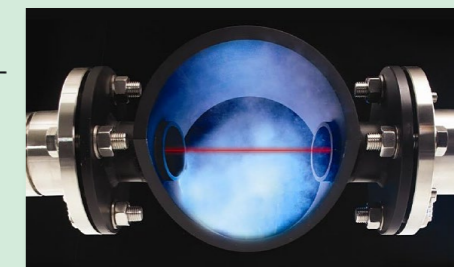


独自性の高い小型船舶向けの
自律航行技術

エイトノット社は、「あらゆる水上モビリティを自律化し、海に道をつくる」をミッションに船の自律航行技術を開発するスタートアップ企業です

レーザー式水素／アンモニア分析装置

- カーボンニュートラルの推進に向けて、水素やアンモニアの燃料としての利活用が加速しており、適切な計測・管理が求められています
- 当社のレーザー式水素分析計は、水電解プロセスでの水素製造工程や水素/アンモニア混焼エンジン排ガスの測定に活用され、環境負荷の低減とクリーンエネルギー社会の実現に貢献します



3. 2024年度の業績予想と中期経営計画・長期経営ビジョン

(1) 2024年度 業績予想のポイント

市場環境

- 地球環境に対する関心の高まり
- 地政学リスクの顕在化
- 国内市場の頭打ちによるトレードビジネスの成長鈍化
- エネルギー市場の変化
- 労働人口の減少
- 株式市場の激変

当社の状況

- TEG、NDVをはじめとする独立型子会社の好業績及び原子力事業の開始等により、収益基盤の安定強化が図られ、事業収益力が大きく伸びた。
- 3事業セグメント体制への改編により、事業の要諦、方向性、課題が明確になり、戦略の実効性向上が図られる様になった。
- コーポレート部門については、機能向上、意識改革が着実に進んでおり、成長への基盤作りに繋がっている。
- 好業績に加えて、株主還元の強化、積極的 IR活動等「資本コストと株価を意識した経営」を進めた結果、株価、ROE、PBR等の指標が上昇する等、企業価値と評価を大きく上げた。
- 人的資本経営の推進に取り組んでいる。

業績予想概要

(億円)	FY23実績	FY24予想
取扱高	2,053.8	2,900
売上高	867.8	940
営業利益	55.8	62
経常利益	62.5	80
親会社株主に 帰属する 当期純利益	44.8	75

- 日本フェンオール社の株式買い増しにより、持分法適用関連会社化。これにより「負ののれん」9.5億円計上。
- 政策保有株式の売却を進め、27.6億円の売却益を計上。更なる削減も視野に入れて検討中。
- 取扱高は前年度実績比で、41%増の2,900億円を想定しており、原子力発電事業開始の効果が、着実に営業ボリューム拡大となって表れている。
- 当期純利益は過去最高の75億円を予想している。

3. 2024年度の業績予想と中期経営計画・長期経営ビジョン

(2) 業績予想および中期目標・長期到達目標

	FY23 通期実績	FY24 予想 (2/13上方修正)	中計最終年度 FY26 目標	長計最終年度 FY30 到達目標
取扱高 ※	2,053.8 億円	2,900 億円	—	—
売上高	867.8 億円	940 億円	1,200 億円	1,800 億円
営業利益	55.8 億円	62 億円	70 億円	120 億円
経常利益	62.5 億円	80 億円	76 億円	125 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	44.8 億円	75 億円		
PBR	1.06 倍	※ 1.33 倍		
1株当たり当期純利益	372.46 円	624.75 円		
株価	3,705 円	4,835 円 (2/14時点)		
時価総額	456 億円	595.7 億円 (2/14時点)		

中期経営計画および長期経営
ビジョンの当初目標数値を
上方修正しました

※1) 連結業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。

※2) 取扱高については、「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合における数値となります。

※3) FY24のPBR値については、12月末時点の純資産を元に算出しております。

3. 長期経営ビジョンの中期経営計画および到達目標

- ✓ 三菱重工業の火力・原子力事業の一次代理店業務開始による基盤収益力の向上
- ✓ 連結子会社*の安定成長
*Tsurumi(Europe)GmbH, 日本ダイヤバルブ, セイカダイヤエンジン
- ✓ TVE、日本フェンオールの持分法適用会社化

- ✓ オーガニック事業（エネルギー、産業機械、プロダクト）の成長
- ✓ ノン・オーガニック事業への取り組み（事業投資、M&A）



101期
2023年度

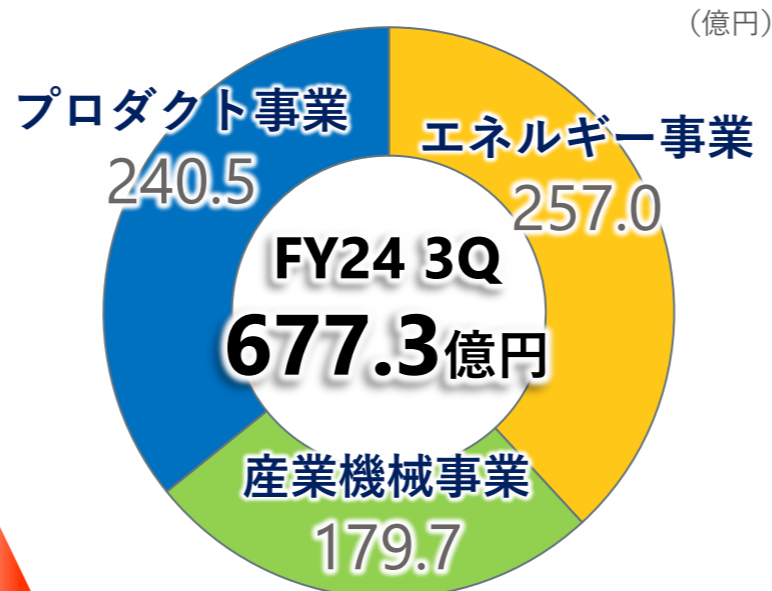
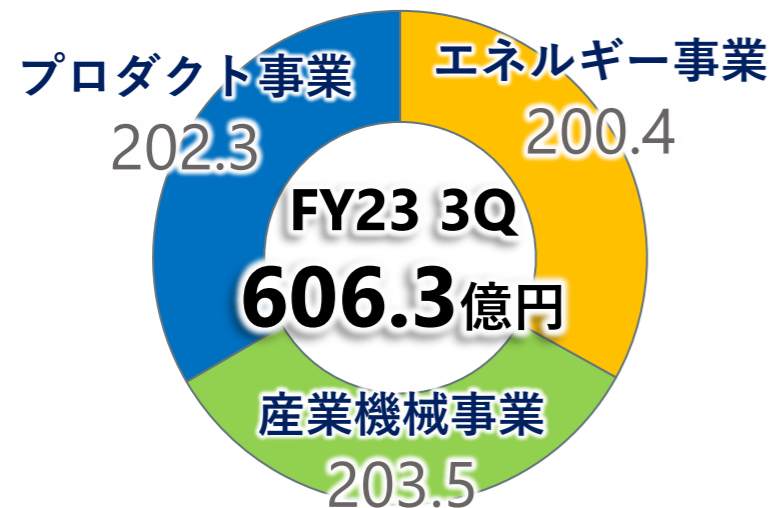
102期
2024年度

104期
2026年度

108期
2030年度

3. セグメント別 売上高およびセグメント利益の構成

【売上高】



エネルギー事業

九州地区の原子力発電所向け定期修繕工事や中国地区の火力発電所向け主要設備の更新工事など受渡しが順調に進み、また持分法適用関連会社化した株式会社TVEや日本フェンオール株式会社との営業シナジーも加わり、増収増益。



産業機械事業

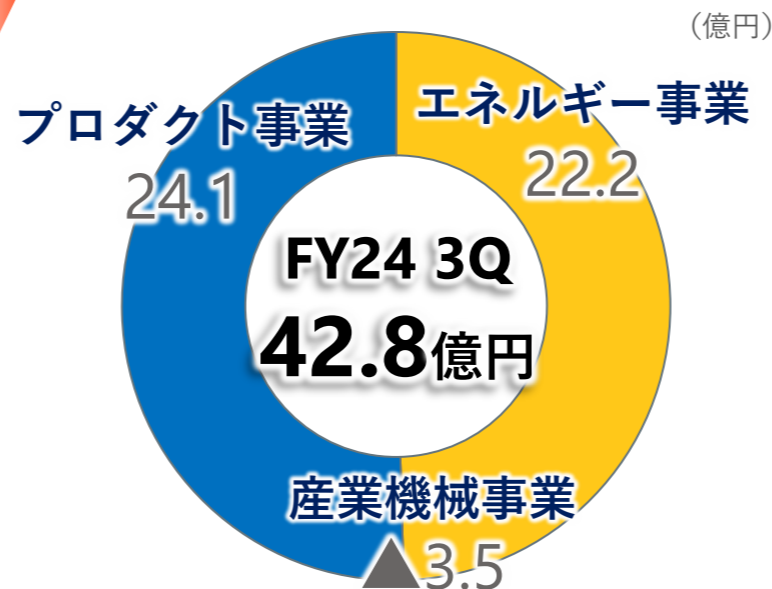
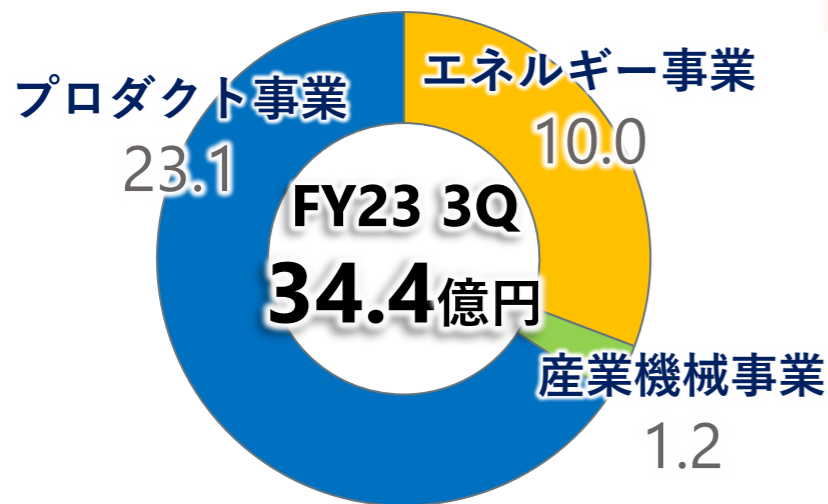
米国・タイの海外現地法人の業績は好調に推移したものの、ドイツ・中国の現地法人の業績低迷に加えて単体も大型案件の受渡しが少なかったことから、減収減益となったものの、環境関連商談の受注は拡大している。



プロダクト事業

当社単体では、UTドローンを活用したプラント設備点検商談や半導体および電気自動車関連商談が拡大。また、欧州Tsurumi (Europe) GmbHグループの業績も好調に推移したことから、増収増益。

【セグメント利益】



3. 主要連結子会社の状況

Tsurumi (Europe) GmbH グループ

単位：億円

	FY22 通期	FY23 通期	FY24 予想
売上高	72.7 (52.7百万ユーロ)	84.7 (55.6百万ユーロ)	101.1 (61.7百万ユーロ)
営業利益	10.2 (7.4百万ユーロ)	13.4 (8.8百万ユーロ)	15.4 (9.4百万ユーロ)

※ユーロTTM 仲値

@137.90

@152.27

@163.80(1月時点)

NDV 日本ダイヤバルブ株式会社

単位：億円

	FY22 通期	FY23 通期	FY24 予想
売上高	70.8	70.5	72.8
営業利益	9.6	12.3	9.2

※単体数値

SDE/セイカダイヤエンジン株式会社

単位：億円

	FY22 通期	FY23 通期	FY24 予想
売上高	84.6	84.8	81.8
営業利益	4.5	5.7	5.0



敷島機器株式会社

単位：億円

	FY22 通期	FY23 通期	FY24 予想
売上高	38.8	41.1	49.6
営業利益	1.8	1.8	2.3

4. 価値創造プロセス

当社の資本や強みを活かしながら、長期経営ビジョン「VIORB 2030」の実現、そしてステークホルダーの皆様への価値提供を目指してどのように事業展開を行っているかを分かりやすくご理解頂くため、価値創造プロセスを策定致しました。

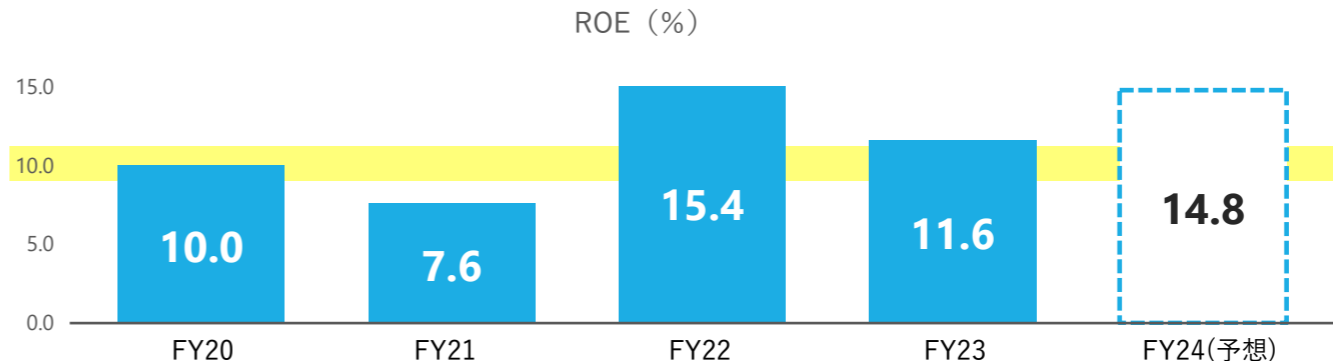


5. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

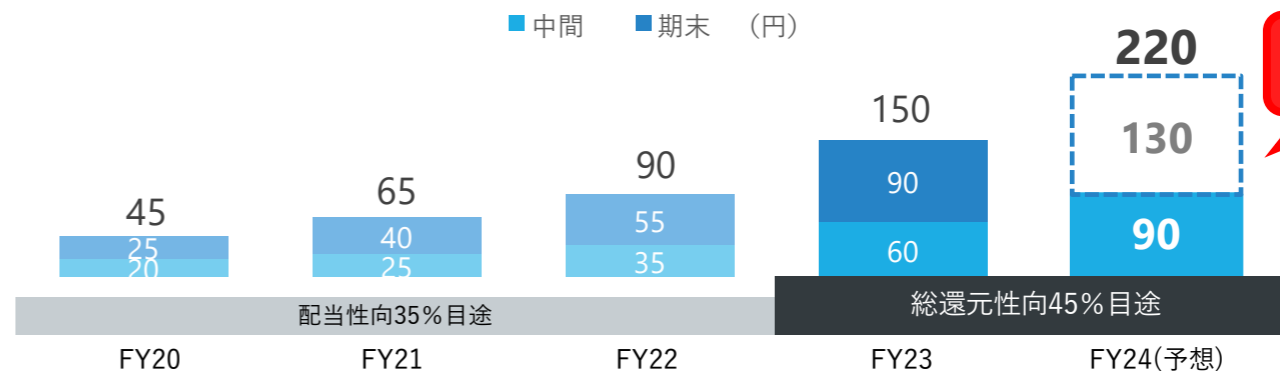
進捗 2024年9月末時点

具体策

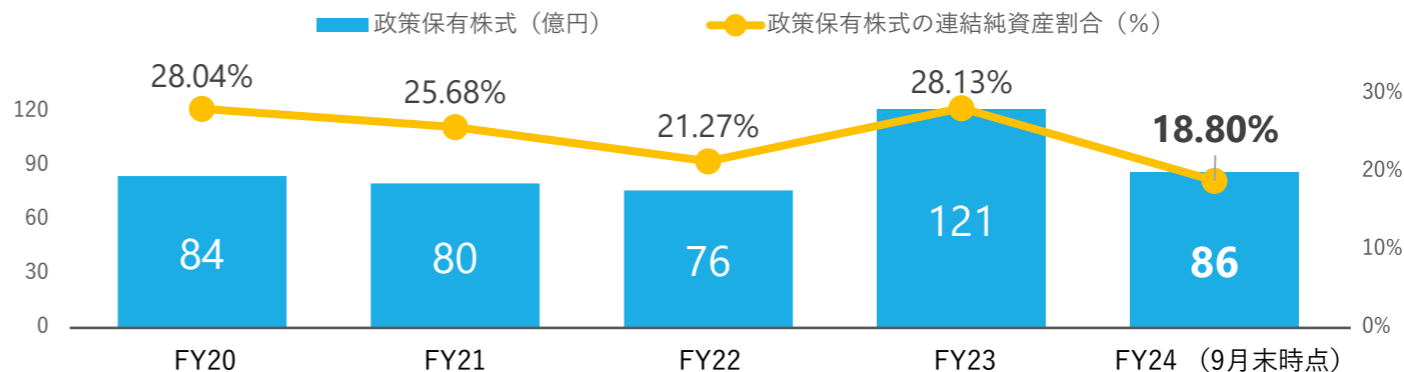
ROE目標（当初8.0%台維持）を10.0%へ上方修正し、長期経営ビジョンの収益目標を前倒し達成するため、PDCAサイクルを効果的に回す組織体制を整備する



株主還元の方針を「配当性向35%目途」から「総還元性向45%目途」へ変更し、株主還元を強化する



政策保有株式の縮減を進め、計画通り2024年度末までに連結純資産の20%を下回る水準を目指し、将来的には10%までの縮減を検討

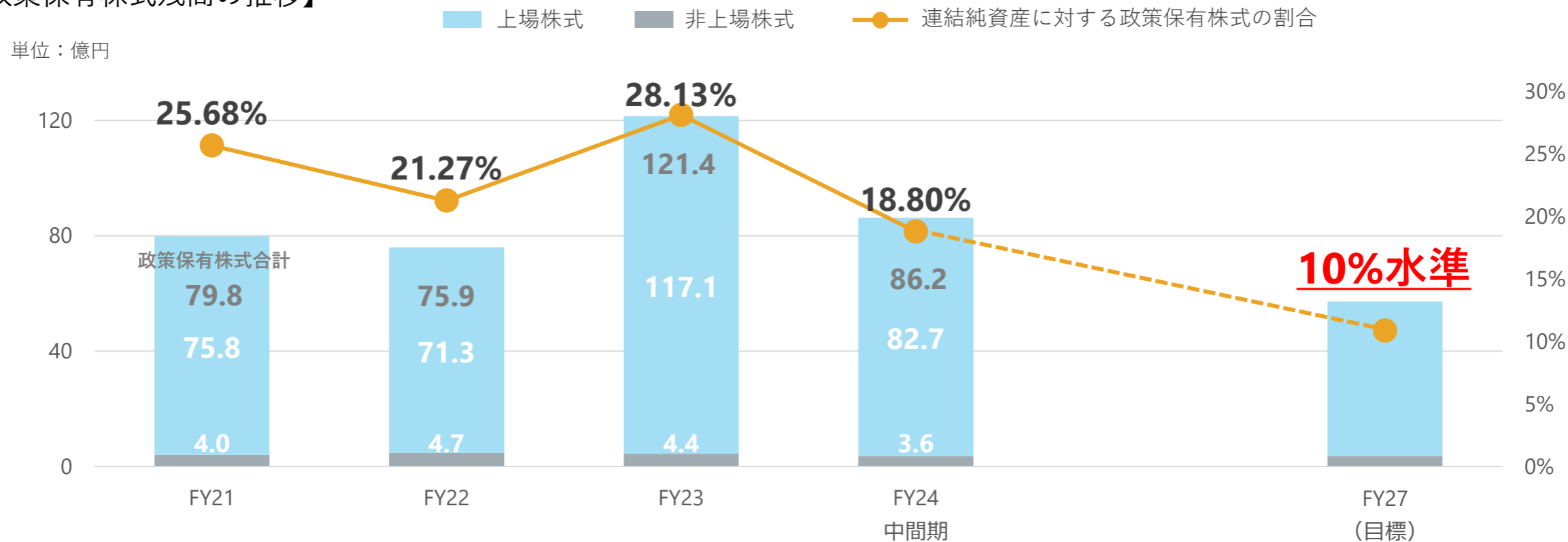


5. 政策保有株式の縮減状況

縮減目標の更なる設定

縮減目標：2027年度には2024年12月末時価ベースで約35%縮減し、
政策保有株式の連結純資産割合「10%水準」を目指します

【政策保有株式残高の推移】





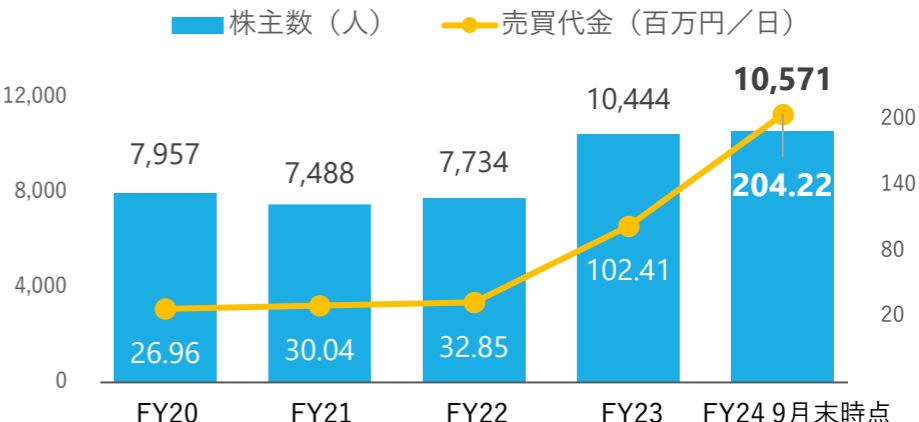
【政策保有株式売却実績】

	FY21	FY22	FY23	FY24 中間期
売却銘柄数	—	8銘柄	4銘柄	12銘柄
売却額	—	1,379百万円	342百万円	3,411百万円
連結純資産に対する政策保有株式の割合	25.68%	21.27%	28.13%	18.80%

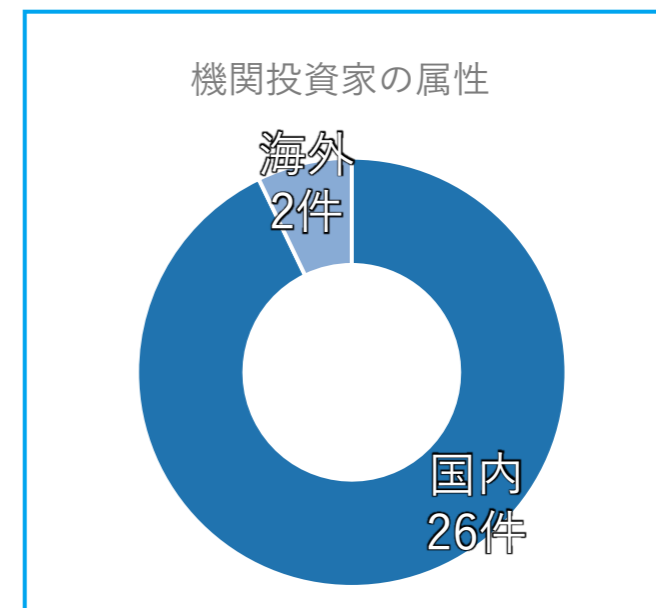
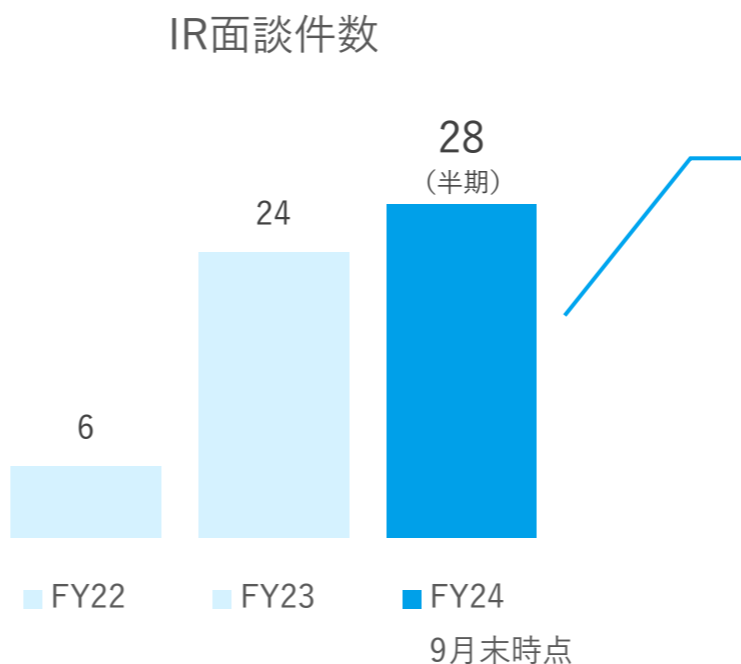
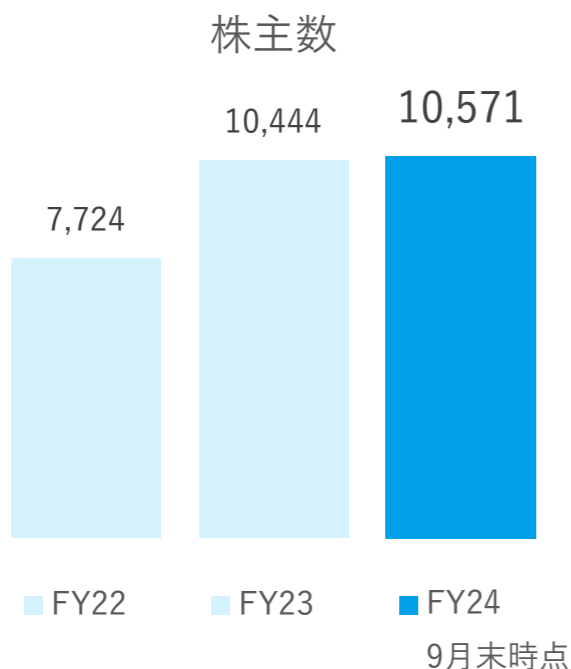


**更なる
縮減**

5. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

<p>具体策</p>	<p>進捗 2024年9月末時点</p>																										
<p>財務健全性を維持しつつ、 強いB/Sを活かし 100億円規模の成長投資を実行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)田中造船の買収 ・日本フェンオール(株)の持分法適用関連会社化 																										
<p>株主優待制度を導入し、 新しい株主を呼び込み、 売買取引活性化を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・株主優待制度の導入  <table border="1" data-bbox="1060 758 1696 965"> <thead> <tr> <th>保有株式数</th> <th>優待内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100~299株</td> <td>クオカード1,000円分</td> </tr> <tr> <td>300~499株</td> <td>クオカード2,000円分</td> </tr> <tr> <td>500株~</td> <td>クオカード3,000円分</td> </tr> </tbody> </table>  <table border="1"> <caption>株主数（人）と売買代金（百万円/日）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>株主数（人）</th> <th>売買代金（百万円/日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY20</td> <td>7,957</td> <td>26.96</td> </tr> <tr> <td>FY21</td> <td>7,488</td> <td>30.04</td> </tr> <tr> <td>FY22</td> <td>7,734</td> <td>32.85</td> </tr> <tr> <td>FY23</td> <td>10,444</td> <td>102.41</td> </tr> <tr> <td>FY24 9月末時点</td> <td>10,571</td> <td>204.22</td> </tr> </tbody> </table>	保有株式数	優待内容	100~299株	クオカード1,000円分	300~499株	クオカード2,000円分	500株~	クオカード3,000円分	年度	株主数（人）	売買代金（百万円/日）	FY20	7,957	26.96	FY21	7,488	30.04	FY22	7,734	32.85	FY23	10,444	102.41	FY24 9月末時点	10,571	204.22
保有株式数	優待内容																										
100~299株	クオカード1,000円分																										
300~499株	クオカード2,000円分																										
500株~	クオカード3,000円分																										
年度	株主数（人）	売買代金（百万円/日）																									
FY20	7,957	26.96																									
FY21	7,488	30.04																									
FY22	7,734	32.85																									
FY23	10,444	102.41																									
FY24 9月末時点	10,571	204.22																									
<p>当社の取り組みが幅広く理解されるよう、 情報開示・投資家との対話・IRを強化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IR面談への対応強化 ・個人投資家向け会社説明会の実施（年間計6回開催） ・統合報告書の発刊／ホームページ掲載情報の充実化 ・アナリストレポートの公開（シェアードリサーチ社） ・テレビ、ラジオ、雑誌媒体におけるパブリシティ強化 ・日本格付研究所（JCR）より、長期発行体格付「A-」を取得 																										
<p>持続的成長に向けた健全な インセンティブとして 機能する役員報酬制度を導入する</p>	<p>時価総額、ROE、中期経営計画実行度を評価ポイントとするBIP信託制度の導入</p>																										

5. 株主・投資家との対話状況



投資家向け説明会の実施状況（2024年度）

開催日	開催地域	内容	登壇者
5/27	東京+オンライン	2023年度 決算説明会	代表取締役社長ほか
6/5	オンライン	IFA向け会社説明会	代表取締役社長
7/27	名古屋	個人投資家向け会社説明会	代表取締役社長
9/28	大阪	個人投資家向け会社説明会	代表取締役社長
2/10~11	台湾（台北）	機関投資家向け会社説明	代表取締役社長
2/22	広島	個人投資家向け会社説明会	代表取締役社長
3/15	福岡	個人投資家向け会社説明会	代表取締役社長

5. 株主・投資家との対話状況

■ 株主・投資家の関心事項

- ・ 中期経営計画「VIORB2030 Phase1」最終年度目標の見直しについて
- ・ 原子力発電設備事業開始後の状況と今後の見通しについて
- ・ 株主還元や配当に関する方針について
- ・ 近年の事業投資や資本提携の意図と今後の投資方針について
- ・ グループ会社各社の事業概要と今後の見通しについて
- ・ 四半期報告書廃止以降の受注高把握について

■ 経営陣や取締役会に対するフィードバックの実施状況

取締役会、経営会議メンバーへタイムリーに情報を共有し、経営戦略に反映している。

内容	頻度	報告方法
投資家・アナリストとの面談議事録	都度	直接またはメール
IR戦略の進捗報告	四半期ごと	取締役会

■ 対話を通じた改善事項

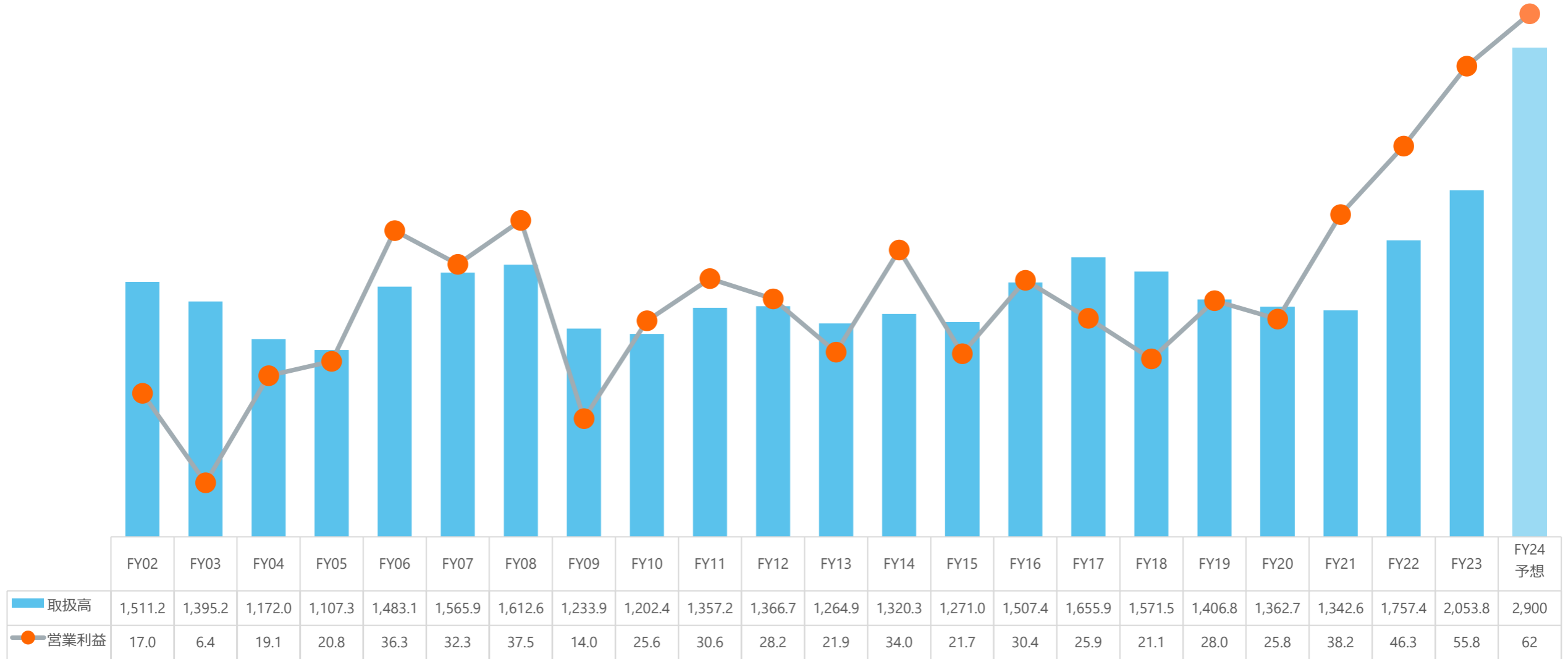
- ・ 中期経営計画の最終年度目標の見直しについては、2月に発表済み追加施策やキャッシュアロケーションなどは本年度中に発表予定
- ・ 主要子会社決算状況の決算説明会における報告開始（中間・期末）
- ・ 受注高については継続性の観点からHPに引き続き掲載



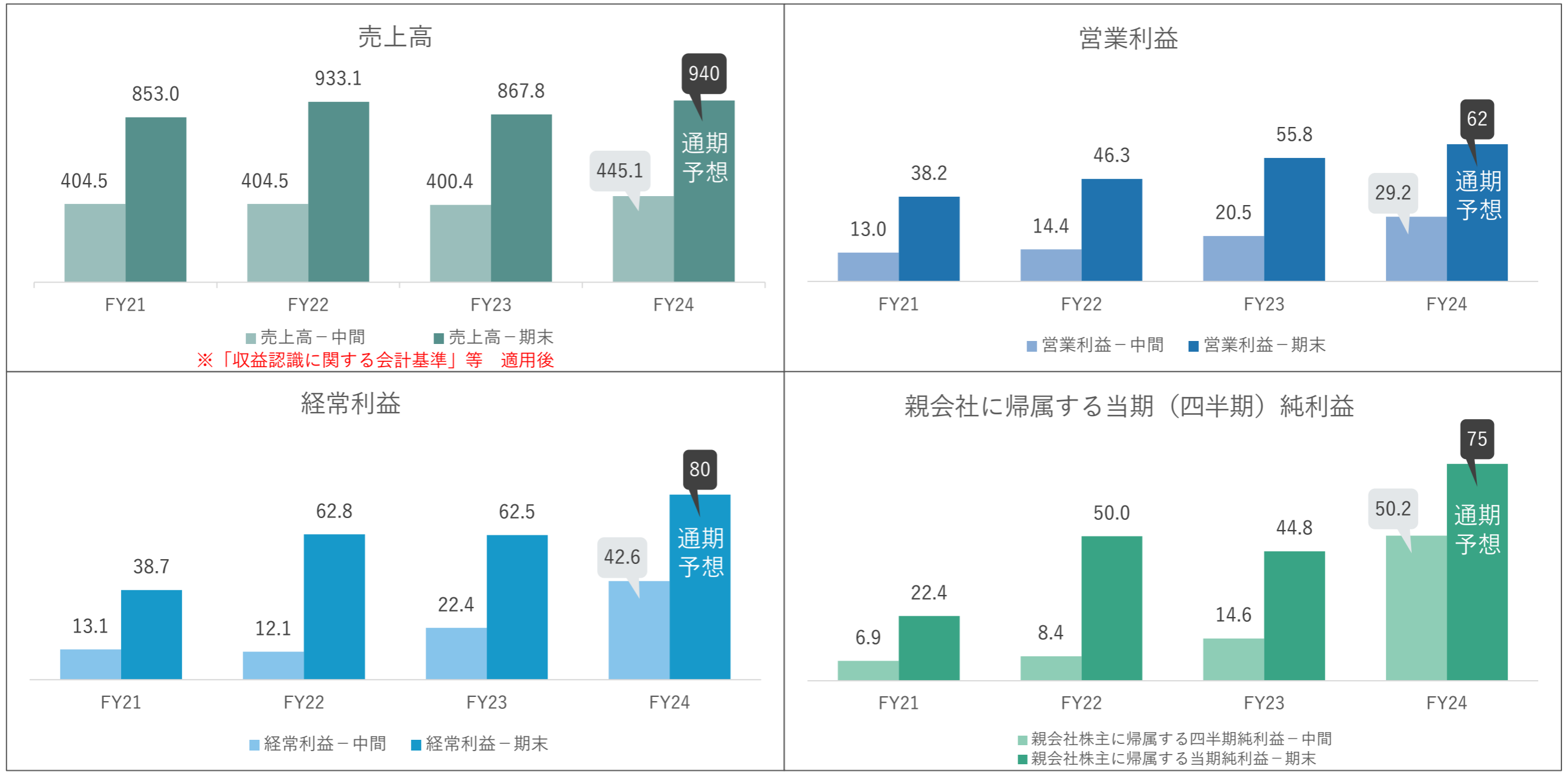
連結參考資料

業績の推移（取扱高・営業利益）

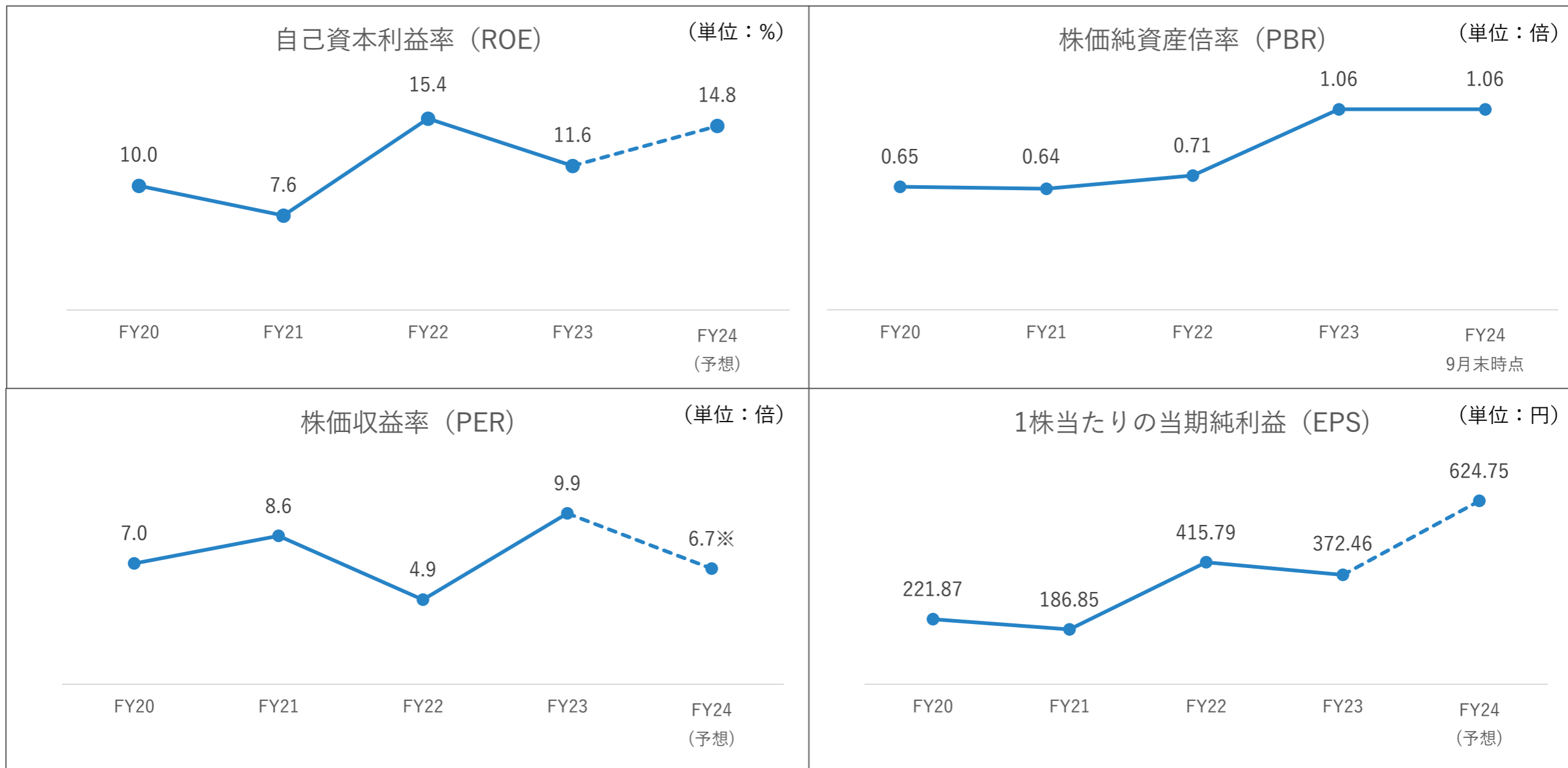
■ 取扱高 ● 営業利益 (単位：億円)



※「取扱高」については、「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合における数値となります。



経営指標の推移

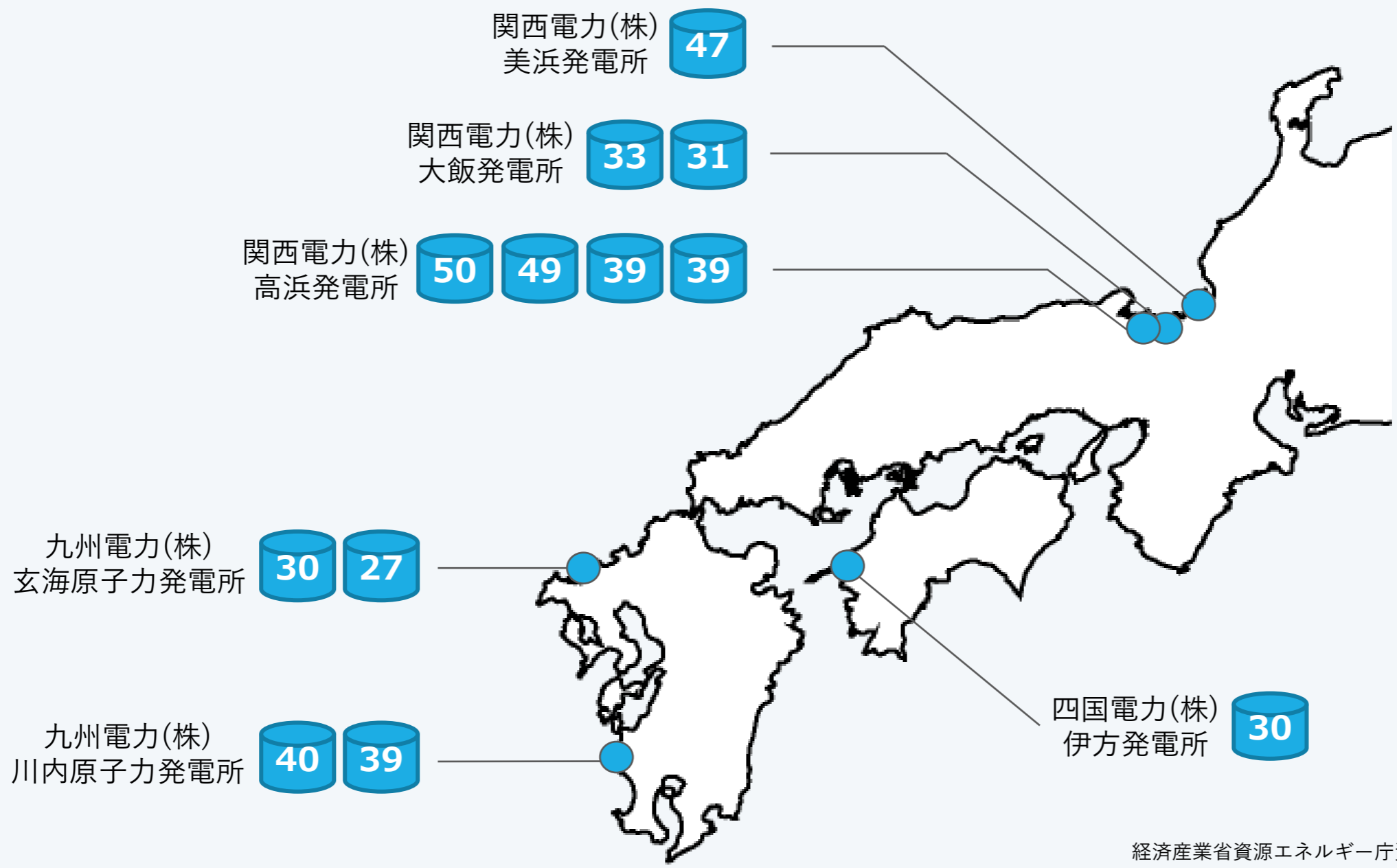


※PERの数値は9月末時点の株価を基に算出しております



当社が担当しているPWR型原子力発電所

47 稼働年数



経済産業省資源エネルギー庁資料より抜粋 (2025年1月10日時点)



2023/3/31~2025/3/7における株価と出来高推移



トピックス一覧

4月1日	西華産業グループ会社セイカダイヤエンジン(株)による(株)田中造船の株式取得
4月1日	田中水力株式会社との業務提携に係る覚書締結
4月18日	ラジオNIKKEI出演／代表取締役社長 櫻井
5月27日	2024年3月期 決算説明会
6月13日	日本フェンオール(株)の株式取得
6月13日	IFA向け会社説明会（主催：株主手帳）実施
7月26日	7月26日発刊「日経ビジネス2024年7月29日号」社長インタビュー掲載
7月27日	ラジオNIKKEI×PRONEXUS共催「企業IR&個人投資家応援イベント」名古屋開催 参加
8月26日	8月26日発刊「電気新聞」超軽量太陽光パネルの取材記事掲載
9月12日	9月12日発刊「日刊工業新聞」EV船の実証実験記事掲載
9月28日	ラジオNIKKEI×PRONEXUS共催「企業IR&個人投資家応援イベント」大阪開催 参加
11月21日	(株)日本格付研究所による新規格付取得（格付：A-）
11月22日	2025年3月期 中間決算説明会
11月22日	統合報告書2024 発刊
12月25日	日経電子版タイアップ「桐谷流投資術 初めて買った株は西華産業」掲載
12月25日	日興アイ・アール「2024年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」で「総合部門 優良企業」を受賞
12月31日	ラジオNIKKEI出演／代表取締役社長 櫻井
2025年2月10～11日	台湾（台北）での機関投資家向け会社説明
2月22日	ラジオNIKKEI×PRONEXUS共催「企業IR&個人投資家応援イベント」広島開催 参加

人的資本の取り組み

人材育成

- 社員一人ひとりの個性を尊重し、本人の成長意欲を高めるための環境づくりを推進
- 高度な専門性を伴う実務能力の向上と、幅広い知識・能力の習得を目的に、経営戦略の実現を担う人材の育成（教育研修費用）
- 個人の成長を促し組織の能力・機能向上に資する制度の構築（人事制度改革）
- 経営者として確実な成長を促すためのサクセッションプランを整備（グループ経営人材の育成）

人事制度改革

（2024年度～）

- 年功的な運用からの脱却
- 個人の成長を促し組織の能力・機能向上に資する制度の構築
- 個人の能力等の適正評価と昇給等への反映
- 総合職、一般職等の職掌をなくし、人材の最適配置を図る

国内外における ダイバーシティへの 取り組み

- 当社グループ所属員としての意識醸成、グループ間の繋がり強化を目的として、海外5拠点（タイ、ベトナム、台北、ソウル、上海）から女性社員5名が参加し、東京本社でのチームビルディング研修、グループ会社の業務紹介プレゼンテーションの受講、工場見学を実施
- 国内各場所に所属するアドミ担当社員（延べ40名の女性社員）が参加し、情報の共有化と業務効率化・高度化を目的とした研修を実施。2023年度は業務を遂行する上での課題や「女性管理職の登用／育成」についてもディスカッションを行なった

近年の社会貢献活動のご紹介

【域活性化・支援活動】

- 日本赤十字社を通じた能登半島地震における災害義援金の寄付
- 赤い羽根共同募金への寄付
- 日本赤十字社を通じた災害義援金の寄付
- 漁船海難遺児育英会への寄付
- 余剰カレンダー・手帳の寄付（フードバンクTAMA）
- 災害備蓄品の寄贈（NPO法人FUKUSHIMAいのちの水）
- 大丸有キラピカ作戦（地域清掃活動）に参加
- 社員のボランティア活動参加の支援



カレンダー・手帳の寄付。
傷つかないように丁寧に
詰めました。



大丸有キラピカ作戦（地域
清掃）に参加しました。

【人道支援活動】

- 難病児への支援活動「ア・ドリーム・ア・デイ IN TOKYO」への寄付
- 古着deワクチンへの支援
- ペットボトルキャップ収集（世界の子どもにワクチンを日本委員会）
- 使用済み切手収集・寄付（日本キリスト教海外医療協力会）



使用済み切手の寄付。
段ボール3箱にもなりました。

